

福岡東在宅療養シンポジウム2016 参加票集計結果

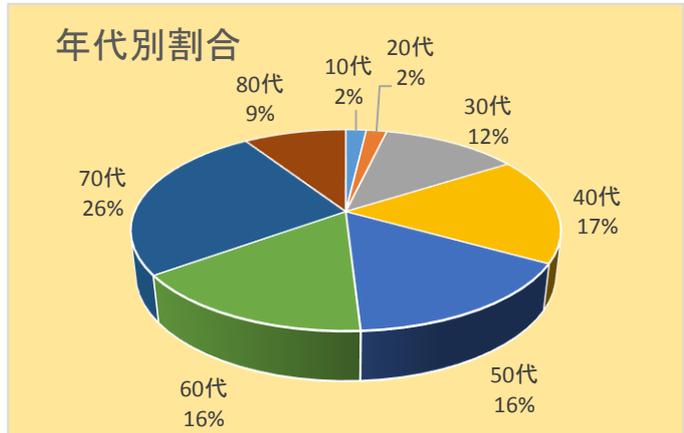
【1】参加者総数 220名 (内訳) 男性39名 女性128名 不明53名
 (別途運営スタッフ81名)

(性別不明は、サンプールームほほえみとなごみの里入所者)

※以下の表に運営スタッフ並びに入所者は含まず

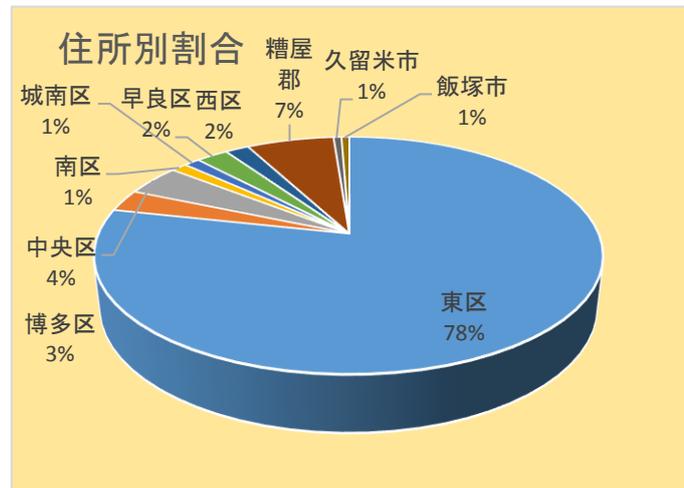
【2】年代別

	合計	内訳	
		男性	女性
10代	3	1	2
20代	3	0	3
30代	20	8	12
40代	28	4	24
50代	26	5	21
60代	26	6	20
70代	42	9	33
80代	15	6	9
不明	4	0	4
	167	39	128



【3】住所別

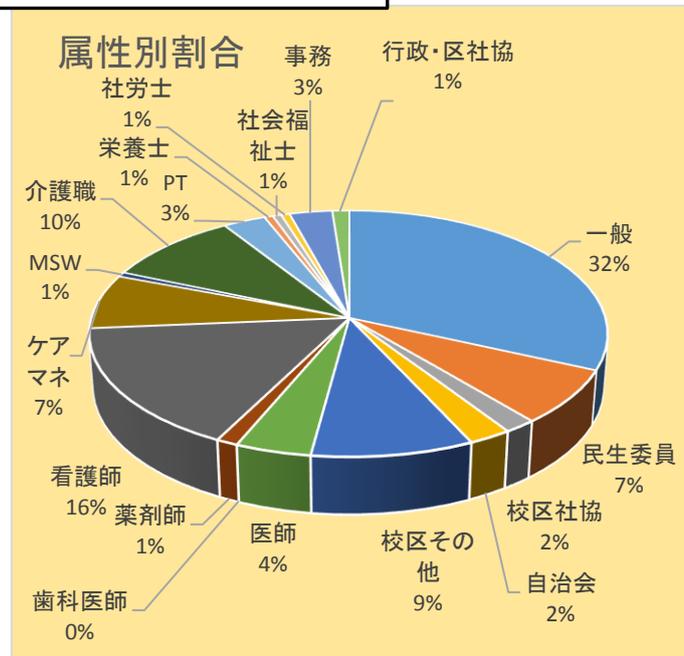
	合計	内訳	
		男性	女性
東区	131	32	99
博多区	5	0	5
中央区	7	0	7
南区	2	1	1
城南区	2	1	1
早良区	4	1	3
西区	3	1	2
糟屋郡	11	3	8
久留米市	1	0	1
飯塚市	1	0	1
	167	39	128



【4】属性別

「ほほえみ」等入所者の方を足すと、計106名

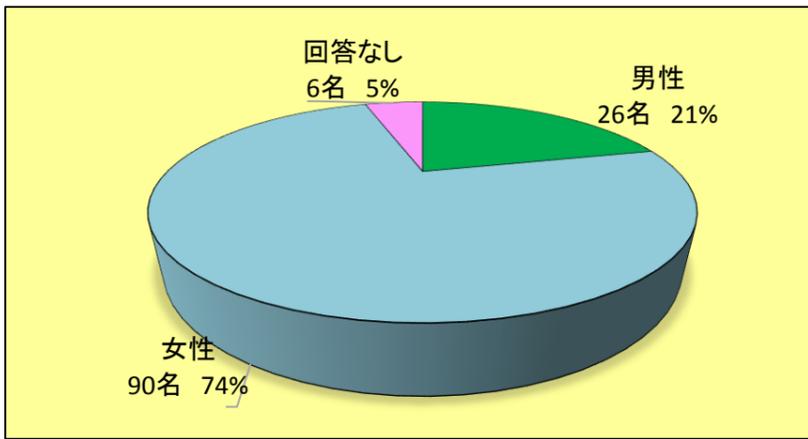
	合計	内訳	
		男性	女性
一般	53	14	39
民生委員	12	0	12
校区社協	3	2	1
自治会	4	2	2
校区その他	15	3	12
医師	7	5	2
歯科医師	0	0	0
薬剤師	2	1	1
看護師	27	0	27
ケアマネ	12	0	12
MSW	1	0	1
介護職	16	6	10
PT	5	3	2
栄養士	1	0	1
社会福祉士	1	0	1
社労士	1	0	1
事務	5	2	3
行政・区社協	2	1	1
	167	39	128



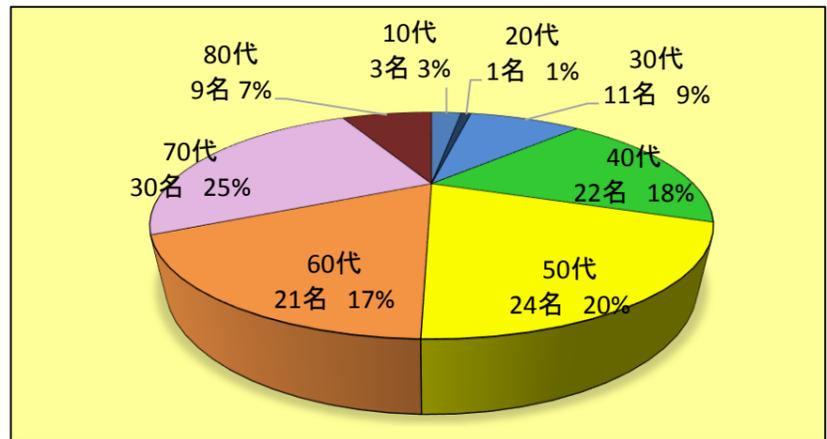
地域住民のための福岡東在宅療養シンポジウム2016アンケート

参加者220名 回答者122名 回答率55%

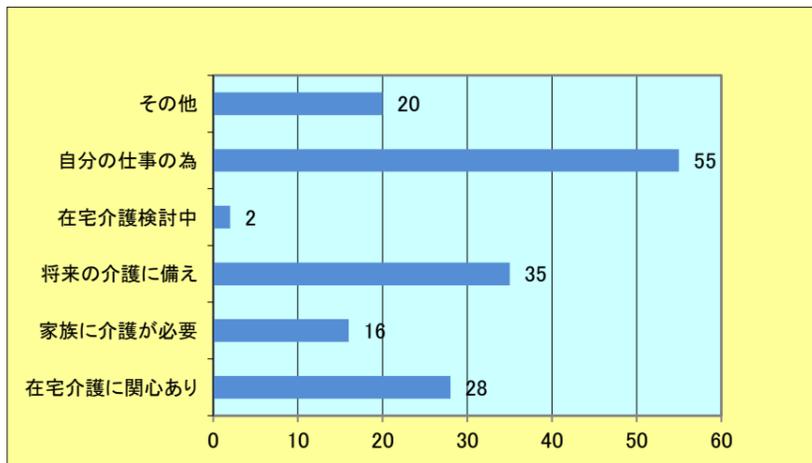
Q1. 性別



Q2. 年齢



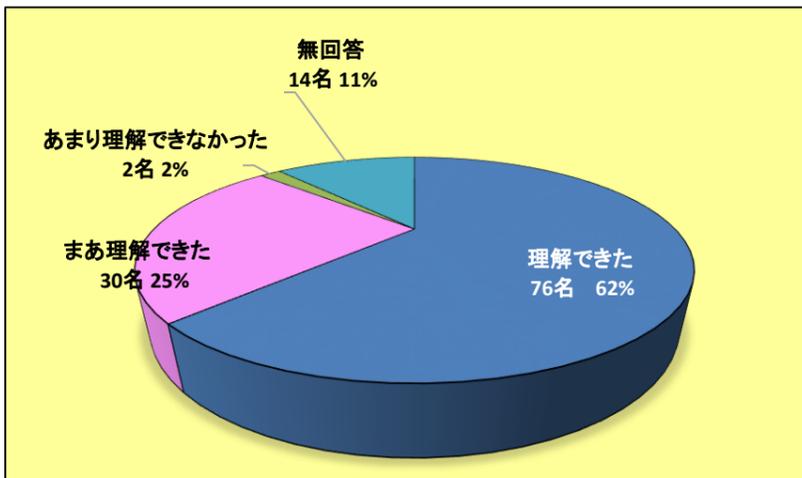
Q3. シンポジウムに参加した動機は何ですか？



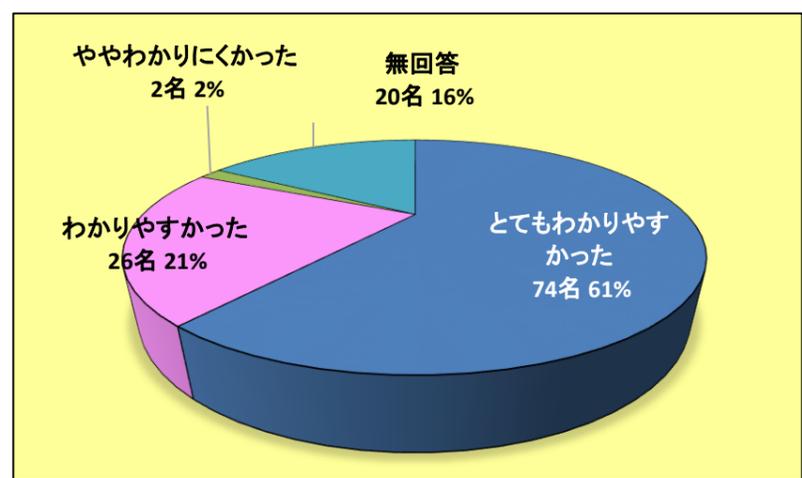
《その他》*記載があるもののみ

知人の誘い	4名
民生委員だから	3名
地域ボランティアをしているから	4名
一人暮らしだから	3名
毎回参加している	1名
地域の在宅看護のあり方に興味がある	1名
付き添い	1名
母がケアマネのため	1名
医師会役員だから	1名
ふれあいサロンに出て欲しいので下見	1名

Q4. 在宅介護の実際について理解できましたか？



Q5. 寸劇はいかがでしたか？



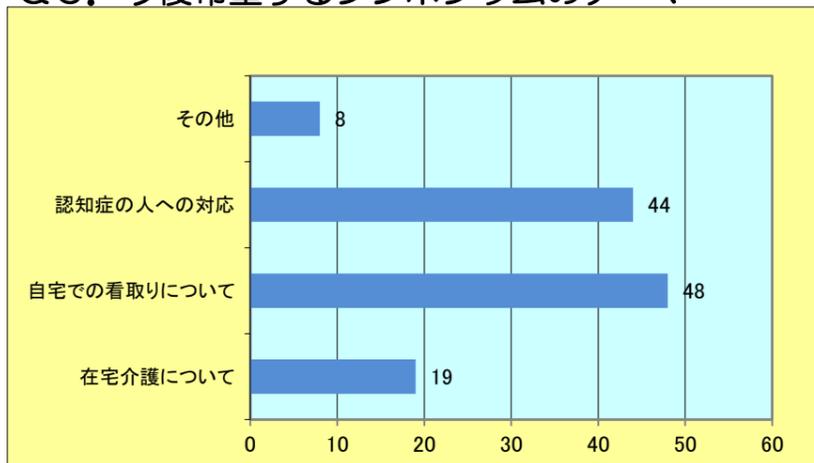
<寸劇の主な感想>

- ・楽しかった。面白かった。わかりやすかった。感動した。心が温かくなった。毎年楽しみにしている。演技が上手。来年も期待している。(複数)
- ・体操が楽しくリラックスできてよかった。(複数)
- ・地域の繋がり、支え合いの大切さや地域の役割がよくわかった。(複数)
- ・住み慣れた地域に住むことの大切さを感じた。(複数)
- ・情熱が伝わり、ネットワークが素晴らしいと思った。(複数)
- ・映像、小道具も凝っていて練習も大変だったと思う。お疲れ様でした。(多数)
- ・当たり前のように暮らせるチームの必要性を感じた。
- ・劇のように身の回りの人たちに恵まれた地域に住みたい。
- ・介護について知らない人が多いので、色々なところでやって欲しい。
- ・介護の大変さを知った。

<その他の感想>

- ・既に在宅介護のまっただ中であり、もっと深い内容を期待していた。
- ・現実、高齢者は人に迷惑をかけたくないと考えており、助けを求められないとお節介はしづらい。
- ・個人情報保護法により、現実には地域の関わり合いが難しい。
- ・あまり参考にならなかった。
- ・体操の方の衣装は普通でよいと思った。

Q6. 今後希望するシンポジウムのテーマ



<その他>

- ・仕事をしながらの介護の実際について、在宅に掛かる費用
- ・地域での集い場作り
- ・マンション住まいの人の手助け
- ・重度心身障害者(児)の外出をサポートできるネットワークが広がり、繋がれるシステムができたらいいです。
- ・いきいきセンターの役割分担について。民生委員と連携
- ・病院や施設のかかり方
- ・地域と福祉専門職の連携について
- ・ベッド周囲に必要なもの、食事排泄面についても知りたい。

Q7. 本日の感想

- 1 民生委員として参加しました。個々の民生委員としての活動のとりえ方が違うのが現実です。他の機関に繋ぐ、紹介するのも大切ですが、お一人お一人との係わり、ご相談相手、気持ちの繋がりがより大切だと思いました。
- 2 本日がはじめての参加でした。とても良く分かりました。90歳の姉がいます。今後が少し明るく思えました。
- 3 とても楽しく分かりやすかった。(多数)
- 4 次回も楽しみにしている(多数)
- 5 日常、人と関わって生き甲斐を見つけること、人の為になっていることの喜びを見つけて、老後生活することが大切だと感じた。
- 6 妻が認知症です。施設他、関係者にお世話になり感謝しています。サッカーの例えはよくわかりました。妻の介護していて大変ですが、妻に私の介護をさせるよりまだ良いです。私はわがままだからひどく迷惑をかけたに違いない。
- 7 必要になったら色々利用します。ありがとうございました。
- 8 自分一人で抱え込まずに色々なところに相談できるんだなあと感じました。
- 9 介護認定制度が変わるそうですので、その話を分かりやすく話していただけると助かります。
- 10 楽しませて頂きました。やっぱり家がよか！見守りには向こう三軒両隣が一番かな！
- 11 皆さんがとても親切で車椅子も出して頂きました。本当に助かりました。ありがとうございました。
- 12 身近なタイトルで愛着を感じます。次回も楽しみにしています。
- 13 今は何もないが、先々に役立つと思います。
- 14 とても楽しかったです。私も参加したいな！
- 15 特に男性の場合、大変なようですね。主人にもよく注意しておきます。
- 16 在宅介護についてより関心をもてるようになりました。
- 17 寸劇があったことで、支援、サポートがそう難しいものではない事が良くわかった。
- 18 一人暮らしの自分も、今後のことを考えると何かしないといけないと思いました。
- 19 介護報告はとても良かったと思いますが、専門職(介護職の方など)の方の講演が少しあってもよいと思います。
- 20 在宅介護経験者の方の話を聞くことで在宅支援の重要性を感じました。
- 21 支え合いが様々なところで広がれば、安心安全な生活ができる。人は一人で生きるのは難しい。持ちつ持たれつの心を持っていこうと思う。
- 22 地域に根付いた支援ができるようにもっと勉強したいと思いました。
- 23 在宅介護の方々の体験談など、とても心を打たれました。そして勇気と自分にもできるのではないかという自信が少しですが持てました。ありがとうございました。
- 24 病気や老化、障害のある家族が安心して住めるようにこのシンポジウムが続いていけばいいなと思います。
- 25 体験談は何を話しているのか聞き取れなかった。マイクボリュームの調整やプレゼンターは前準備が必要と思う。いきいきセンター良く理解できました。いきいきセンターの存在価値、必要性を感じた。
- 26 多くの専門分野の皆様の協力が在宅介護を支えて頂ける今を幸せだと感じました。私も1人暮らし。いつかはお世話になると思いますが心強い人達がいることを知り安心しました。今はボランティアで楽しませてもらっています。
- 27 介護体験談のときはスクリーンを使うなら話の内容をポイントを載せて欲しい。同じ内容が続くと眠くなってくるので...いっそのことスクリーンを使わずに明るいほうがいいかもしれない。
- 28 具体的な内容でわかりやすかった。
- 29 利用者家族の体験談を聞くことができ、家族の方たちの思いなど感じる部分が多くありました。また参加したいです。
- 30 地域との関わりを大切にすることは、日頃から高齢者も出来ることであり、行事にも参加し支えあう関係作りを思い起こしてほしい。子供の見守りも大切なひとつと思う。三郎さんのようなかわりを皆で見直してほしい。
- 31 実際在宅で介護された方の生の声が聞けてよかったです
- 32 在宅看護の現状は厳しいと聞いているが、在宅看護の体制推進のために何が大切かハード面、ソフト面の充実と在宅での見取りと看護ができる体制づくりを急ぐべきと考えます。
- 33 親しみやすく身近な気持ちで内容を受け止めることができました。ますますの発展をお祈りします。
- 34 なるべく住み慣れた自宅だと考えてます。今後の選択肢の中に入れて色々と考えて行きたいです。ありがとうございました。
- 35 全体的な時間配分が良く、場外展示も勉強になった。
- 36 西戸崎ふれあいサロン汐風に出演してください。よろしく！代表小森→電話番号の記載あり
- 37 サンプルや商品の説明等、わかりやすくて良かったです。在宅支援の事業所リストなど活用していきたいと思いました。
- 38 老人を抱えている子供たちにも認知症老人の扱い等、色々の勉強のために若い人達にも聞いてほしい。